

# IP時代のサービス競争を勝ち抜く 『PacketMedia™』がその答えを導き出す

ネットワークのIP化が急速に進む中で、キャリア市場における競争の焦点もIPをベースとした付加価値化に移りつつある。新たなサービスの要となるのは、IPメディアサーバー。そして、これに高い競争力を持たせる仕組みを提供するのが、NMSコミュニケーションズの『PacketMedia』だ。

NMSコミュニケーションズの岩下敏代表取締役社長は、「キャリア市場では今後、IPネットワーク上でのサービス競争が活発化する。そこでは、高付加価値なサービスをいかに早く開発し提供できるかがポイントとなる」と話す。

『PacketMedia』は、こうしたトレンドをいち早く見越してリリースされたものだ。ハードウェアプラットフォームとなる「CG6000シリーズ」は、単一ボードで120ポートをサポートする密度の高さと、DSPによるミックスメディアの一括処理により、キャリアクラスのスケーラブルなサービスを低コストで実現する。また、アプリケーション開発のためのソフトウェアは、IVR(双方向音声応答)、ユニファイドコミュニケーション、カンファレンシング、音声認識、音声合成などさまざまな機能を、オープンなAPI「Natural Access™」で容易に利用可能。さらに、H.323、H.248(MEGACO)に加え、MGCP、SIPといった新しいVoIPプロトコルも

サポートしている。

これにより、キャリア側ではIPベースの高度なサービスを短期間で開発できるようになる。

そして、NMSコミュニケーションズと組んでインテグレーションを提供するメーカー/ベンダーにも、高品質なシステム開発を効率的に行えるというメリットをもたらす。すでに、NTTコムウェア、NECネットワークスをはじめ数社が、キャリア向けソリューションのプラットフォームとして、PacketMediaを採用している。

## 独自のサービス仕様にも柔軟対応

付加価値サービスの開発に対するキャリア側のニーズは、「短期間かつ低コストで」だけではない。「競合との差別化を図るためのオリジナリティを盛り込みたいという要求が必ずある」(岩下社長)。これに応えるためには、ソフトウェアのカスタマイズを行う必要がある。

NMSコミュニケーションズは

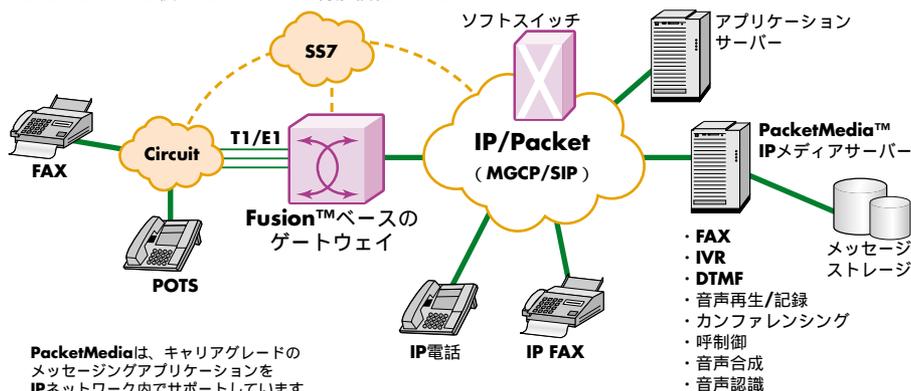


NMSコミュニケーションズ  
岩下 敏 代表取締役社長

PacketMediaという汎用性の高い開発プラットフォームの提供だけでなく、個々のニーズにも柔軟に対応できるように、米国本社の強力なエンジニア陣が全面的にバックアップする体制を整えている。そして、日米間のコミュニケーションについては、日本法人のプロジェクトマネージャーが仲介役となり、作業の迅速化を実現している。

では、PacketMediaによってどのような付加価値サービスが盛り上がりを見せていくのだろうか。岩下社長は、「注目される動きとしては、IP網も含めた多様なアクセスとスケーラビリティを実現したカンファレンスサービスと、音声ポータルや音声ダイアリングに代表される音声認識機能を使ったアプリケーションサービスがあげられる」という。これら以外にも、キャリア各社から趣向を凝らしたさまざまなサービスの登場が想定される。さらに将来を見据えると、固定網から移動体網へとIP化の流れが進むことで、PacketMediaの活用シーンがより大きく広がることになりそうだ。

PacketMediaを使ったIPベースの付加価値サービスイメージ



お問い合わせ

**NMS COMMUNICATIONS**  
Technology for tomorrow's networks

NMSコミュニケーションズ株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1  
新宿グリーンタワービル27階

TEL : 03-5325-5591  
URL : <http://www.nmss.co.jp>  
Contact : [sales@nmss.co.jp](mailto:sales@nmss.co.jp)